

対象年度		令和 5年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		市道排水整備事業						予算事業名		市道排水整備事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	道路法、道路構造令					
				08	02	02	12	経常経費							
総合計画体系		住みたい・住み続けたい 安全・快適な都市を目指そう						事業の区分		主要事業					
		快適で住みやすいまちづくり													
		良好な住環境の形成						担当課係等		土木課 維持係					
事業期間		継続 (昭和30年度～令和 7年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
排水施設（側溝・排水管）を整備することにより、人や車両が安全に通行できる。								住民からの要望が多く、道路や住環境の安全性について、緊急的な対応が求められている。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
排水施設（側溝・排水管）の設置								道路の利用者							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								住みやすさが求められる中で、道路や住環境に対する安全性への意識は非常に高まっている。							
【令和 5年度 事業内容】				【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】							
・排水整備設計委託 ・排水整備工事				・排水整備設計委託 ・排水整備工事				・排水整備設計委託 ・排水整備工事							

■事業費

		R03年度	R04年度			
財 源 内 訳	国 庫 支 出 金	0	0			
	県 支 出 金	0	0			
	地 方 債	0	0			
	そ の 他	0	0			
	一 般 財 源	34,826	37,500			
歳 入 計 (千 円)		34,826	37,500			
歳 出 内 訳	節 (番 号 + 名 称)	金 額 (千 円)	金 額 (千 円)			
	12 委託料	0	2,500			
	14 工事請負費	34,826	35,000			
歳 出 計 (千 円) (A)		34,826	37,500			
伸 び 率 (%)			7.67			
備 考						

令和 3年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R03年度	R04年度	R05年度
活動 指標	排水施設(側溝・排水管)の設置	m	目標	500.00	500.00	0.00
			実績	461.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	排水整備率	%	目標	26.00	26.20	26.40
			実績	26.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	ますます必要性が高くなっている。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	行政以外には実施できない事業である。
	手段の妥当性	A 妥当である	現在のやり方が一般的であり、特に問題はない。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	効率は徐々に高まっている。
公平性	受益者の偏り	A 偏りは見られない	広い範囲に対して便益が提供されており、偏りは見られない。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	概ね目標水準に達している。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	ある程度進んでいる。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
予算が削減されていく中で、コスト削減に努めているが、近年ゲリラ豪雨等により住宅地の冠水が増加傾向にある。また、他の事業にくらべてコストが高いため、対応が困難である。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
水たまり箇所図の作成等の現状把握・分析。 年々、市道排水整備の要望が増加する中、広範囲での排水検討が求められるため、設計委託により対応していきたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 整備箇所の情報を整理し把握したうえで、経済性・必要性・妥当性を考慮し最適な設計・整備に繋げていく必要がある。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	